



こもろの時間

図 小諸市教育委員会事務局

学校での教育は集団活動が主ですが、困難さのある児童や生徒の皆さんが必要な支援を受ける

4 時限目

多様な学びの場

ことができるように、様々な学びの場があります。それら学びの場について、市内小学校・中学校・高等学校の状況とあわせてご紹介します。

通常の学級

小・中学校の通常の学級の授業では、基本的に学級などの集団での一斉指導が中心です。少人数指導やチームティーチング指導など学び方を工夫もしています。小諸市では、小学校に「支援教員」や「支援員」の先生を配置して学びやすい工夫や支援をしています。

支援教員・支援員



通級指導教室

通常の学級で授業を受けることはできているけれど、一部の時間を使って、本人の悩みや難しさなどを解決するための方法を学ぶ（「自立活動」）を取り出して行う場が通級指導教室です。小諸市には、坂の上小学校に「LD等通級指導教室」、美南ガ丘小学校に「ことばの教室」があります。保護者の送迎によって市内の小学校から通室しています。また、東信地区の東御清翔高校にも「LD等通級指導教室」があります。

特別支援学級

個々の困難さに応じた教育を行う場として、小学校・中学校の中に設置されています。小諸市内の学校には「知的障害学級」「自閉症・情緒障害学級」があり、「知的障害学級」では、生活単元学習（教科を合わせた学習）や作業学習や自立活動に取り組んでいます。「自閉症・情緒障害学級」では、意志疎通や対人関係、行動面で特別の指導や配慮が必要なため、小中学校の学習内容に加えて自立活動を大事にしながら取り組んでいます。



特別支援学校

特別支援学校は、障がいの種類ごとに、児童生徒ひとり一人に応じた教育を専門的に行う場です。小諸市には、「長野県小諸養護学校（知的障害）」があります。小学部で、日常生活の中で自分の力のできることを増やししながら、中学部・高等部では、卒業後の社会生活や職業生活に必要な知識・技能・関わり方などを身に付けるために、作業学習や職場実習などに取り組んでいます。小諸市内の児童生徒で、「長野県盲学校（視覚に関する学校）」「長野県ろう学校（聴覚に関する学校）」「長野県稲荷山養護学校（肢体不自由に関する学校）」「長野県若槻養護学校（病弱などに関する学校）」で将来の自立に向けた学習に取り組んでいる子どもたちもいます。



長野県小諸養護学校

副学籍制度とは…

特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住する地域の小・中学校に副次的な学籍を置き、当該小・中学校の児童生徒と共に行事や学習活動の交流をする制度。地域とのつながりを維持・継続することができます。小諸市では、一昨年から「副学籍」を進めています。

1月4日（水）

晴れ

日直 こもろん